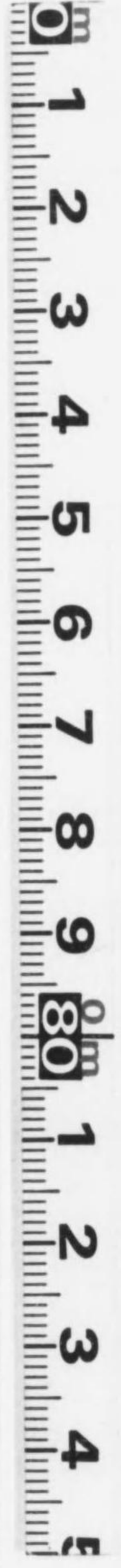


日本組合基督教會規約

特 253

515

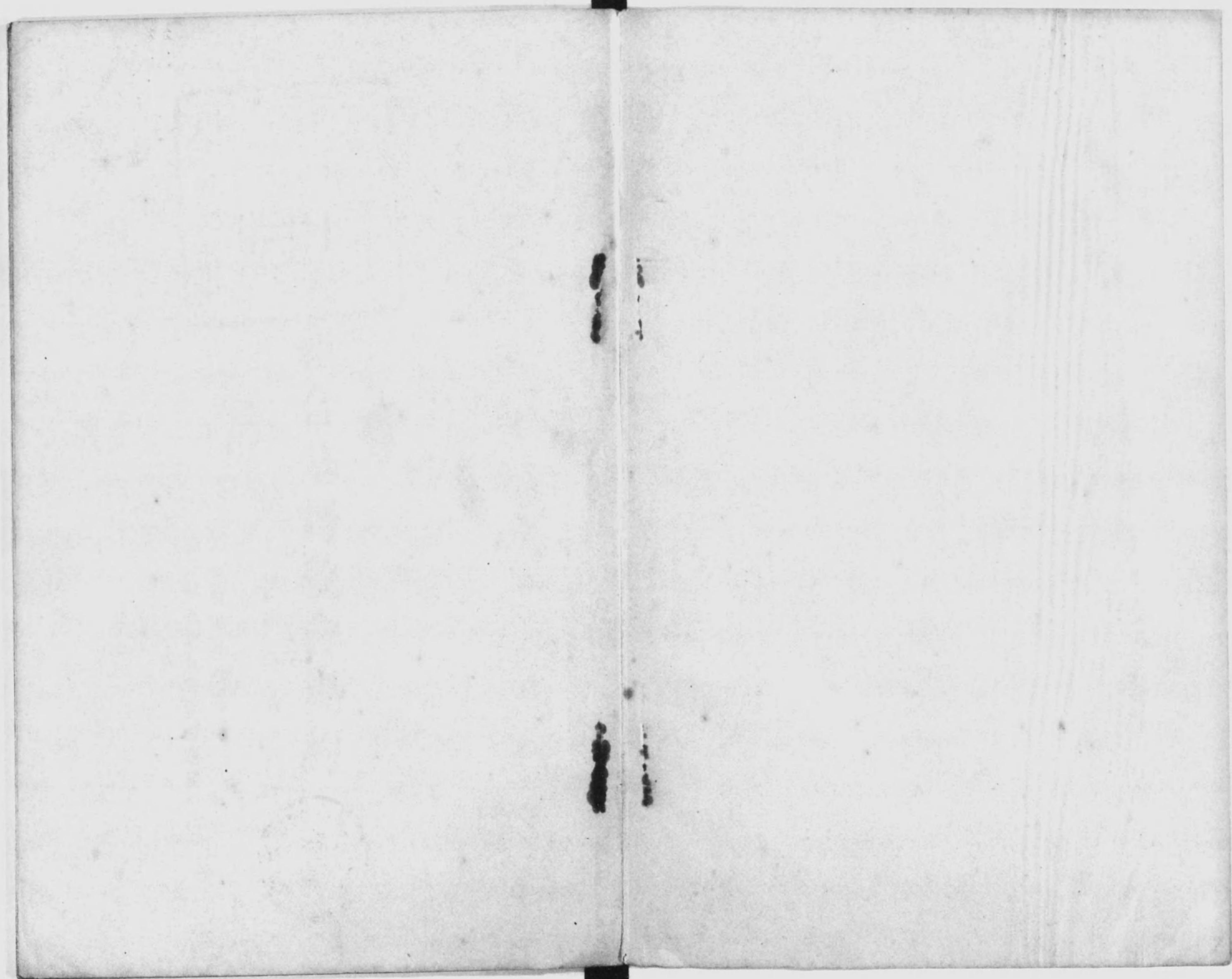


3  
5

始









特 253  
515



# 日本基督聯合會規約

附。各種規程、協定、決議  
維持財團寄附行為及細則  
基督教世界社規則、教師會  
聯合婦人會及青年會聯盟規約







日本組合基督教會



目次

一 日本組合基督教會規約……………一

二 日本組合基督教會理事會規程……………一六

三 日本組合基督教會傳道部基本金規程……………一六

四 日本組合基督教會教職銓衡規程……………一七

五 日本組合基督教會教職試驗規程……………一八

六 日本組合基督教會傳道獻身者獎勵ニ關スル規程……………二〇

七 日本組合基督教會傳道師養成獎學金規程……………二〇

八 同志社神學教育協力ニ關スル協定……………二三

九 日本組合基督教會教職名簿整理規程……………二三

十 日本組合基督教會中央基金規程……………三三



十一	日本組合基督教會恩給資金規程	二四
十二	日本組合基督教會中央基金及恩給資金細則	二五
十三	日本組合基督教會及アメリカン・ボールド間ニ於ケル傳道事業ニ關スル協定	二六
十四	日本組合基督教會及アメリカン・ボールド間ニ於ケル傳道事業ニ關スル協定第四項但書ニ關スル決議	二九
十五	日本ミツシヨン宣教師ニ關スル決議	三〇
十六	千九百二十七年協約	三一
十七	千九百二十七年協約中央委員會施行細則	三三
十八	財團法人日本組合基督教會維持財團奇附行爲	三四
十九	財團法人日本組合基督教會維持財團奇附行爲細則	三五
二十	日本組合基督教會會堂建築資金規程	三六
廿一	日本組合教會客員籍ニ關スル決議	四一
廿二	日本組合基督教會他行及住所不明會員整理ニ關スル申合	四二
廿三	日本組合基督教會調査委員ニ關スル決議	四三
廿四	日本基督教聯盟ニ關スル決議	四三
廿五	基督教世界社規則	四三
廿六	日本組合基督教會教師會規約	四五
廿七	日本組合基督教會聯合婦人會規約	四七
廿八	日本組合基督教會男女青年會聯盟規約	四九



# 日本組合基督教會規約

## 第一章 總 則

第一條 本會ハ自治ヲ主義トシ協同ヲ精神トスル基督教會ニシテ本規約ニ同意スルモノヲ以テ組織ス

第二條 本會ハ日本組合基督教會ト稱ス

第三條 本會ノ目的左ノ如シ

- 一 本會ニ加盟セル諸教會(傳道所ヲ含ム)ノ一致協力ト其進歩發達ヲ圖ルコト
- 二 傳道、教育、社會的調査施設及出版等ノ事業ヲ經營シ神國ノ擴張ヲ圖ルコト
- 三 世界各國ニ於ケル基督教會ト提携シ人道ノ實現ヲ圖ルコト

第四條 本會ノ本部ヲ大阪府大阪市ニ置ク

必要ニ應ジテ適當ノ地ニ支部ヲ置クコトヲ得

## 第二章 教 會

第五條 本會ニ加盟ノ教會ハ左ノ條件ヲ具フルモノタルベシ

- 一 會員三十名以上ヲ有スルコト
- 二 禮拜堂又ハ一定ノ禮拜所ノ設備ヲ有スルコト
- 三 牧師(主任傳道師又ハ兼任者)ノ在任ト共ニ役員ヲ常置スルコト



四 教會規約ヲ設定シ定期ノ禮拜並ニ洗禮及聖餐式ヲ執行シ教務ヲ處理スルコト  
 五 總會及部會ノ決議ニ對シ義務ヲ負フコト  
 前項ノ條件ヲ有スルニ至ラザル信徒團體ニシテ會員若干名ヲ有シ定期ノ集會ヲ執行スルモノハ之ヲ傳道所ト稱シ加盟セシム

第六條 教會又ハ傳道所ヲ設立シ本會ニ加盟セントスルトキハ部會ノ協賛ヲ經テ理事會ノ承認ヲ得ベシ  
 但部會ノ設立ナキ地方ニ於テハ直接ニ理事會ノ承認ヲ得ベシ

第七條 既設ノ信徒團體ニシテ教會又ハ傳道所トシテ本會ニ加盟セントスルトキハ第六條ノ手續ヲ經ベシ  
 第八條 加盟教會ニシテ第五條第一項第一號乃至第五號ノ條件ヲ缺クニ至リタルトキハ理事會ハ相當ト認ムル期間ヲ定メテ之ヲ補充セシム 若シ其期間ニ補充スル能ハザルトキハ傳道所トナス

第九條 加盟ノ教會又ハ傳道所ニシテ解散若クハ本會ヲ退會セントスルトキハ第六條ノ手續ヲ經ベシ  
 第十條 加盟教會ニシテ本規約ニ背キ又ハ教會ノ體面ヲ毀損シタルトキハ總會ニ於テ之ヲ除名スルコトアルベシ 但教會ニ關スル緊急ノ場合及傳道所ニ關スル場合ニ於テハ理事會ハ部會ニ諮リ總會ニ代リテ處分スルコトヲ得

第三章 教 職

第十一條 本會ニ於テ按手禮ヲ領シタル者ヲ教師ト稱ス

第十二條 教師ニシテ牧會ノ任ニアル者ヲ牧師ト稱ス

第十三條 本會ニ於テ理事會ノ承認ヲ經テ傳道ニ從事スル者ヲ傳道師ト稱ス

第十四條 本會ニ於テ傳道ニ從事スルアメリカン・ボールド派遣宣教師ハ理事會ノ推薦ニ依リ本會教師タルモノトス

第十五條 教師タラントスル者ハ教職試驗規程ニ從ヒ總會ニ於テ按手禮ヲ受クルヲ要ス

第十六條 他教會ニ於テ按手禮ヲ領シタル者ニシテ本會ノ教師タラントスルトキハ志願書ニ按手禮證明書及履歷書ヲ添ヘ理事會ニ提出シ其承認ヲ得ベシ

第十七條 傳道師タラントスル者ハ教職試驗規程ニ從ヒ理事會ノ承認ヲ得ルヲ要ス

他教會ノ傳道師ニシテ本會ノ傳道師タラントスルトキハ志願書ニ前教會證明書及履歷書ヲ添ヘ理事會ニ提出シ其承認ヲ得ベシ

第十八條 教師及傳道師ニシテ他教會ニ轉ジ若シクハ退職セントスル者ハ其理由書ヲ理事會ニ提出シ其承認ヲ得ベシ

第十九條 教師ニシテ其體面ヲ毀損シタルトキハ理事會又ハ總會ニ於テ之ガ處分ヲ行フ

第二十條 傳道師ニシテ其體面ヲ毀損シタルトキハ理事會ニ於テ之ガ處分ヲ行フ

第四章 部 會

第二十一條 加盟教會(傳道所ヲ含ム)ヲ地方ニヨリテ區分シ其區域内ニアル教會ヲ以テ部會ヲ組織ス 但其區域ハ總會ニ於テ之ヲ定ム



第二十二條 部會ニハ五個以上ノ教會アルヲ要ス 但三個以上ノ教會ヲ以テ假部會ヲ組織スルコトヲ得

第二十三條 部會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 部會長 一名
- 二 幹事 若干名
- 三 評議員 若干名

第二十四條 部會役員ノ職務左ノ如シ

- 一 部會長ハ部會ヲ代表シ且幹事會及評議員會ヲ招集シ其議長トナリ會務ヲ處理ス
- 二 幹事ハ部會長ヲ補佐シ會務ヲ分擔ス
- 三 部會長及幹事ハ幹事會ヲ組織スルモノトス
- 四 幹事會ハ部會規約ニ於テ定メラレタル事項ニ就テ議決シ且左ノ事項ヲ處理ス
  - (一) 部會ノ事務及事業ニ關スル處置
  - (二) 部會内教職ノ異動ニ關スル協議ニ與ルコト
  - (三) 年會ノ執行順序及議案ノ編成
  - (四) 幹事會及評議員會ニ於ケル報告及決議事項ヲ理事會ニ報告スルコト
  - (五) 年會ニ於テ議決セラレタル事項
- 五 評議員ハ評議員會ヲ組織シ重要事項ニ關シ幹事會ノ諮問ニ應ジ且意見ヲ提出スルモノトス

六 評議員會ハ緊急事項ニツキ年會ニ代リ臨時決議スルコトヲ得 但此場合ニ於テハ年會ノ承認ヲ得ル要ス

第二十五條 部會ハ毎年定時ニ於テ年會ヲ開キ部會内教會(傳道所ヲ含ム)ノ信仰ト交誼トヲ増進スベキ集會ヲ催シ且左ノ事項ヲ議決ス

- 一 部會ニ關スル諸報告及歲入出豫算
- 二 總會開會ニ對スル準備及收支豫算
- 三 部會内教會及傳道所ノ設立、加盟、解散及退會ノ協賛
- 四 部會内傳道及本部委讓ノ傳道地ニ關スルコト
- 五 部會内日曜學校ニ關スルコト
- 六 部會内青年會聯盟ニ關スルコト
- 七 部會内教會ノ特殊事情ニ應ズル處置
- 八 年會ノ時期及場所
- 九 部會役員ノ選舉

但第七號ニ關スル決議ハ理事會ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第二十六條 部會長ハ會長ノ招集ニ應ジ毎年一回部會長會ヲ開キ左ノ事項ニ就キ協議ス

- 一 各部會ノ教勢報告



- 二 傳道ノ應援及開拓ニ關スルコト
  - 三 其他部會ノ事業ニ關スルコト
- 部會長會ハ理事會ノ諮問ニ應ジ且意見ヲ提出スルコトヲ得

第五章 總會

第二十七條 總會ヲ定時總會及臨時總會ノ二種トス

- 一 定時總會ハ毎年十月前年度總會ニ於テ決定シタル開會地ニ於テ之ヲ開ク
- 二 臨時總會ハ理事會ノ決議又ハ十個以上ノ教會ノ請求アリタルトキ之ヲ開ク 但臨時總會ニ於テハ原案及之ニ關スル事項ノ外議題トナスコトヲ得ズ

第二十八條 總會ハ會長之ヲ招集シ其期日及議案ハ少クトモ開會二週間前ニ各教會ニ通知スベシ

第二十九條 總會ハ本會ノ最高機關ニシテ左ノ議員ヲ以テ組織ス

- 一 教會ノ代員
  - 現住會員百五十名未滿ノ教會 一名
  - 現住會員百五十名以上、四百名未滿ノ教會 二名
  - 現住會員四百名以上、七百名未滿ノ教會 三名
  - 現住會員七百名以上ノ教會 四名
- 二 教會ノ主任教職

- 三 本會會長及理事
- 四 財團法人日本組合基督教會維持財團理事
- 五 部會長

第三十條 左ニ列記スル者ハ總會ノ議事ニ參與スルコトヲ得 但決議ノ數ニ加ハルコトヲ得ズ

- 一 本會ノ教職
- 二 本會ノ職員及各種委員長
- 三 財團法人日本組合基督教會維持財團監事
- 四 教會ノ執事及日曜學校長各一名
- 五 傳道所ノ代表者一名
- 六 基督教世界社役員
- 七 千九百二十七年協約中央委員
- 八 千九百二十七年協約中央委員會管理諸機關ノ代表者各一名
- 九 同志社神學教育協力委員長
- 十 同志社大學文學部神學科ノ代表者一名
- 十一 日本組合基督教會婦人傳道會理事
- 十二 日本組合基督教會男女青年會聯盟中央委員ノ代表者一名



十三 アメリカン・ボールド日本現地委員

十四 特ニ總會ニ於テ推薦シタル者

第三十一條 總會ハ加盟教會ノ過半数ノ代員出席スルニアラザレバ開クコトヲ得ズ

第三十二條 總會ハ議員中ヨリ議長、副議長各一名ヲ選舉スベシ

第三十三條 議長ハ議事ヲ整理シ副議長ハ議長事故アルトキ之ニ代ル

第三十四條 總會ノ議事ハ出席議員ノ過半数ヲ以テ決ス 但第十條第十九條ノ議決ハ出席議員三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

第三十五條 總會ハ加盟教會(傳道所ヲ含ム)ノ信仰ト協同的精神トヲ増進スベキ集會ヲ開キ且左ノ事項ヲ議決ス

一 本會事業ニ關スル報告及議案

二 本會ノ歳入出豫算案及決算報告

三 部會ニ關スルコト

四 按手禮ニ關スルコト

五 教職ノ進退及教會ノ處分ニ關スルコト

六 他ノ教會及團體トノ協力ニ關スルコト

七 總會開會地

八 本會役員及委員ノ選舉

### 第六章 事業

第三十六條 本會ハ第三條ノ目的ヲ達センガ爲メ其事務及事業ヲ左ノ部門ニ分チテ之ヲ處理ス

一 庶務部

二 教職部

三 傳道部

四 教育部

五 社會部

六 財務部

第三十七條 庶務部ニ屬スル事項左ノ如シ

一 各部事務ノ連絡

二 加盟ノ教會及傳道所ニ關スルコト

三 部會ニ關スルコト

四 總會ニ關スルコト

五 本會ノ役員、委員及職員ニ關スルコト

六 理事會、部會長會及委員會ニ關スルコト

七 本會便覽ノ編纂

八 基督教世界社ニ關スルコト

九 日本基督教聯盟及他教會、他團體トノ交渉

十 其他別ニ規定セラレザル本會一切ノ事務



第三十八條 教職部ニ屬スル事項左ノ如シ

- 一 教職ノ異動ニ關スルコト 但教職銓衡規程ハ別ニ之ヲ定ム
- 二 教職試験ニ關スルコト 但教職試験規程ハ別ニ之ヲ定ム
- 三 教職ノ養成ニ關スルコト 但傳道師養成獎學金規程ハ別ニ之ヲ定ム
- 四 神學校トノ協力ニ關スルコト
- 五 中央基金及恩給資金細則ノ適用ニ關スルコト
- 六 其他本會教職ニ關スル事項

第三十九條 傳道部ニ屬スル事項左ノ如シ

- 一 一般傳道事業ノ計畫
- 二 教會ノ設立
- 三 加盟ノ教會及傳道所ノ應援
- 四 所屬傳道地及其主任教師ニ關スルコト
- 五 巡迴教師ノ派遣

第四十條 教育部ニ屬スル事項左ノ如シ

- 一 日曜學校ノ發達ニ關スルコト
- (一) 教師ノ養成

(二) 教科書、參考書、教材ノ選擇及編纂

(三) 巡迴應援及講習會ノ開催

二 青年團體(男女)ノ指導ニ關スルコト

(一) 青年會聯盟ノ指導

(二) 青年團體ノ連絡及應援

三 諸教育機關ノ連絡ニ關スルコト

(一) 加盟ノ教會及傳道所所屬教育機關ノ連絡及應援

(二) 本會ニ關係緣故アル教育機關ノ連絡

第四十一條 社會部ニ屬スル事項左ノ如シ

- 一 社會問題及社會事業ニ關スル研究調査並ニ施設
- 二 加盟ノ教會及傳道所ニ於ケル社會的施設ニ對スル指導及後援
- 三 研究調査ニ依ル出版
- 四 講演會及講習會ノ開催
- 五 本會ニ關係緣故アル社會事業團體ノ連絡及後援
- 六 社會改善運動ニ對スル應援

第四十二條 財務部ニ屬スル事項左ノ如シ



- 一 本會歳入出豫算案ノ編成及決算報告
- 二 加盟ノ教會及傳道所負擔金ノ收集
- 三 中央基金果實供給金及恩給資金ノ收支
- 四 特別維持員、維持員、贊助員寄附金及有志寄附金ノ募集
- 五 本會經費ノ支出
- 六 其他本會財務ニ關スル一切ノ事項

#### 第七章 役員

#### 第四十三條 本會ニ會長ヲ置ク

- 一 會長ハ本會ヲ代表シ總會及理事會ノ決議ニ基キ會務ヲ統理ス
- 二 會長ハ理事會及部會長會ヲ召集シ其議長トナル
- 三 會長ハ職務上理事ノ資格ヲ有ス
- 四 會長ハ總會ニ於テ選舉シ出席議員數ノ過半數ノ得票ヲ以テ當選トス 但總會ハ投票ヲ以テ擧ゲタル候補者銓衡委員若干名ヲシテ會長候補者三名ヲ擧ゲシメ其候補者中ヨリ選舉スルモノトス
- 五 會長ノ任期ハ二ケ年トシ其就任ヲ翌年一月一日トス
- 六 會長缺員トナリタルトキハ理事會ニ於テ補缺選舉ヲ行フ 但其任期ハ前會長ノ殘餘期間トス

#### 第四十四條 本會ニ理事九名ヲ置ク

- 一 理事ハ理事會ヲ組織シ總會ノ決議ニ基キ會務ヲ處理シ事業ヲ經營ス  
理事會ハ緊急事項ニツキ總會ニ代リ臨時決議スルコトヲ得 但此場合ニ於テハ總會ノ事後承認ヲ得ルヲ要ス
- 二 會長ハ理事中ヨリ總務理事一名ヲ擧グルコトヲ得  
總務理事ハ會長ヲ補佐シ事務ヲ執行ス  
總務理事ハ會長事故アルトキ會長ノ職務ヲ代行ス
- 三 理事ハ六名ヲ總會ニ於テ、二名ヲ理事會ニ於テ、一名ヲ財團法人日本組合基督教會維持財團理事會ニ於テ選舉シ任期ハ二ケ年トシ其就任ヲ翌年一月一日トス  
理事ハ投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス 過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者ノ中ヨリ要員ノ倍數ヲ取り之ニツキ決選投票ヲ行フ  
理事ニ缺員ヲ生ジタルトキ理事會ニ於テ選定シ之ヲ補缺スルコトヲ得

#### 第八章 職員

#### 第四十五條 本會ニ幹事及書記各若干名ヲ置ク

- 一 幹事ハ理事ノ指揮ヲ受ケ各部ノ事務ヲ分擔處理ス
- 二 書記ハ幹事ヲ補佐シテ各部ノ事務ニ從事ス



三 幹事及書記ハ理事會ニ於テ選任ス

第九章 評議員及委員

第四十六條 本會ハ必要ニ應ジ總會ニ於テ評議員及諸種ノ委員ヲ置クコトヲ得

第四十七條 本會ハ各部事業ノ必要ニ應ジ理事會ニ於テ諸種ノ委員ヲ置クコトヲ得

第十章 經費

第四十八條 本會事業ノ經費ニ對スル歲入ハ左ノ科目ニ依ル

- 一 各種基本財産ノ果實
- 二 加盟ノ教會及傳道所ノ負擔金
- 三 恩給資金
- 四 特別維持員、維持員及贊助員ノ寄附金
- 五 有志寄附金
- 六 其他ノ收入

第四十九條 本會ノ事業ニ對シ左記ノ金額ヲ寄附スル者ヲ特別維持員、維持員及贊助員トス

- 一 特別維持員ハ年額金壹百圓以上ヲ寄附スル者
- 二 維持員ハ年額金拾五圓以上ヲ寄附スル者
- 三 贊助員ハ年額金五圓以上ヲ寄附スル者

第十一章 修正

第五十條 本規約及各規程ハ總會ニ於テ出席議員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザレバ修正スルコトヲ得ズ

附則

第五拾參回總會ニ於テ選舉シタル會長及理事ノ就任ヲ總會終了ノ翌日トシ其任期ヲ昭和十四年十二月末日ト定ム

明治三十七年十月十日  
 同三十八年十一月十日  
 同三十九年十二月十日  
 同四十年一月十日  
 同四十一年二月十日  
 同四十二年三月十日  
 同四十三年四月十日  
 同四十四年五月十日  
 同四十五年六月十日  
 同四十六年七月十日  
 同四十七年八月十日  
 同四十八年九月十日  
 同四十九年十月十日  
 同五十年十一月十日  
 同五十一年十二月十日  
 同五十二年一月十日  
 同五十三年二月十日  
 同五十四年三月十日  
 同五十五年四月十日  
 同五十六年五月十日  
 同五十七年六月十日  
 同五十八年七月十日  
 同五十九年八月十日  
 同六十年九月十日  
 同六十一年十月十日  
 同六十二年十一月十日  
 同六十三年十二月十日  
 同六十四年一月十日  
 同六十五年二月十日  
 同六十六年三月十日  
 同六十七年四月十日  
 同六十八年五月十日  
 同六十九年六月十日  
 同七十年七月十日  
 同七十一年八月十日  
 同七十二年九月十日  
 同七十三年十月十日  
 同七十四年十一月十日  
 同七十五年十二月十日  
 同七十六年一月十日  
 同七十七年二月十日  
 同七十八年三月十日  
 同七十九年四月十日  
 同八十年五月十日  
 同八十一年六月十日  
 同八十二年七月十日  
 同八十三年八月十日  
 同八十四年九月十日  
 同八十五年十月十日  
 同八十六年十一月十日  
 同八十七年十二月十日  
 同八十八年一月十日  
 同八十九年二月十日  
 同九十年三月十日  
 同九十一年四月十日  
 同九十二年五月十日  
 同九十三年六月十日  
 同九十四年七月十日  
 同九十五年八月十日  
 同九十六年九月十日  
 同九十七年十月十日  
 同九十八年十一月十日  
 同九十九年十二月十日  
 同百年一月十日



## 日本組合基督教會 理事會規程

- 第一條 理事會ハ本會規約及各規程ニ於テ定メラレタル事項ニ就テ議決シ且左ノ事項ヲ處理ス  
一 各部事業ノ經營及事務ニ關シ重要ナル處置  
二 總會ノ順序及議案ノ編成  
三 總會ニ於テ議決セラレタル事項  
四 其他本會ニ關スル緊急ノ事項
- 第二條 理事會ハ毎年六回之ヲ開ク 但會長ニ於テ必要ト認メタル場合若クハ理事二名以上ノ請求アリタルトキハ臨時理事會ヲ開クコトヲ得
- 第三條 理事會ノ議事ハ出席理事ノ過半数ヲ以テ決ス 但可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス
- 第四條 理事會ハ理事半数以上ノ出席アルニアラザレバ決議ヲナスコトヲ得ズ
- 第五條 財團法人日本組合基督教會維持財團理事會ハ理事會ニ出席シ且其意見ヲ提出スルコトヲ得

大正八年十月總會ニ於テ制定  
昭和二年十月、同十四年九月  
同十一年十月、同十一年九月  
各總會ニ於テ修正

## 日本組合基督教會 教職銓衡規程

- 第一條 本會ニ教職銓衡委員ヲ置キ教職ノ異動ニ關スル銓衡ヲ行ヒ之ヲ處理セシム
- 第二條 銓衡委員ハ五名トシ三名ハ總會ニ於テ選舉シ二名ハ會長及理事中ノ一名(總務理事アル場合ハ總務理事)之ニ當リ任期ヲ二ケ年トシ其就任ヲ翌年一月一日トス  
會長ヲ委員長トシ會長ハ委員中ヨリ幹事一名ヲ舉グルコトヲ得
- 第三條 銓衡委員ニ於テ選定シ之ヲ補缺スルコトヲ得
- 第四條 本會ノ教職ハ自己ノ進退ニ關シ豫メ銓衡委員ニ希望ヲ述べ之ガ決定ヲ委託スルモノトス
- 第五條 銓衡委員ハ部會内教職ノ異動ニ關シ當該

## 日本組合基督教會 傳道部基本金規程

- 第一條 本基本金ハ特ニ指定シテ寄附セラレタル金員ヲ以テ之ニ充ツ 但物件及條件ヲ附シタル寄附金ハ理事會ノ決議ヲ經テ之ヲ受納ス
- 第二條 本基本金ハ永久ニ之ヲ保管シ其果實ヲ以テ經費ニ充ツ
- 第三條 本基本金ハ財團法人日本組合基督教會維持財團之ヲ保管ス

大正元年十月總會ニ於テ制定  
同八月十月、同十四年九月  
各總會ニ於テ修正

部會幹事會ニ諮問スルモノトス

- 第六條 銓衡委員ハ左ノ場合ニ於テ教職ノ異動ニ關スル銓衡ヲ行フ  
一 教職ヨリ新任又ハ轉任ノ要求アリタル場合  
二 教會ヨリ教職ノ招聘又ハ更迭ノ希望アリタル場合  
三 部會ヨリ教職異動ノ必要ヲ認メ交渉アリタル場合  
四 銓衡委員ニ於テ教職更迭ノ必要ヲ認メタル場合
  - 第七條 教職ノ異動ニ際シ新任教會ノ事情ニ依リ赴任費ニ不足ヲ告グル場合ハ其全額又ハ其幾分ノ支給ヲ受クルコトヲ得
  - 第八條 赴任費補助ノ支給額ハ銓衡委員ニ於テ之ヲ定メ理事會ノ決議ヲ經テ本會經常費ヨリ之ヲ支給ス
- 附 則
- 第五十三回總會ニ於テ選舉シタル教職銓衡委員ノ就任ヲ總會終了ノ翌日トシ其任期ヲ昭和十四年十二月末日ト定ム

昭和十二年十月總會ニ於テ制定



日本組合基督教會  
教職試驗規程

- 第一條 本會ニ教職試驗委員ヲ置キ教師及傳道師志願者ニ對シ試驗ヲ行ハシム
- 第二條 試驗委員ハ十名トシ理事會ニ於テ選舉シ其就任ヲ一月一日トシ任期ヲ二ケ年トス
- 第三條 試驗委員ハ互選ヲ以テ委員長及書記ヲ定ム
- 第三條 教師ヲ志願シ按手禮ヲ領セントスル者ハ左ノ資格アルヲ要ス
- 一 理事會ノ認定スル神學校ノ卒業者及高等教育ヲ受ケ又ハ同等以上ノ學力ヲ有シ神學ヲ研究シタル者ニシテ本會ニ於テ二年以上實地傳道ニ從事シタル者
  - 二 第一號ノ資格ヲ有セズト雖本會傳道師トシテ五年以上勤續シ部會ノ推薦ヲ受ケタル者
  - 三 第一號ノ資格中實地傳道ノ經驗ナキ者ト雖神學教育ニ從事スル者及特別ノ事情ニ由リ特ニ理事會ノ承認ヲ得タル者

- 試驗委員ニ於テ學科上ノ一部又ハ全部ノ試驗ヲ要セズト認メタル志願者ニ對シテハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 第十條 學科上ノ試驗ニ於テ教師志願者ハ五ケ年以内、傳道師志願者ハ三ケ年以内ニ互リテ任意ノ科目ヲ撰ミ數回ニ受験スルコトヲ得 但此場合ハ豫メ受験ノ期間回數及志願科目ヲ指定シテ試驗委員長ニ申出デ其承認ヲ得ベシ
- 第十一條 試驗委員ハ受験者ノ提出シタル履歷書推薦書、信仰告白文及論文等ヲ審査シ且委員ノ定メタル場所ニ於テ筆答及口答試驗ヲ執行シ其成績報告ヲ委員長ヨリ總會又ハ理事會ニ提出スベシ
- 第十二條 按手禮式ハ理事會ノ承認、試驗委員ノ調査及總會ノ決議ヲ經テ之ヲ執行ス
- 第十三條 婦人ノ傳道師及教師ノ志願者ニ對シテハ本規程ヲ準用ス

- 第四條 按手禮志願者ハ志願書ニ履歷書、信仰告白文及論文ヲ添ヘ四月一日迄ニ理事會ニ提出スベシ 但教會在任者ハ其教會ノ推薦書ヲ要ス
- 第五條 理事會ハ前條ノ志願書ヲ受理シ其受験資格ヲ認メタルトキハ試驗委員長ニ通告シ試驗委員長ハ試驗問題ヲ五月一日迄ニ受験者ニ交付スベシ
- 第六條 傳道師ヲ志願スル者ハ神學校ノ卒業者又ハ中等教育以上ノ學力ヲ有シ傳道上必須ノ神學科目ヲ研究シタル者ニシテ三年以上本會所屬ノ信徒タルヲ要ス
- 第七條 傳道師志願者ハ志願書ニ履歷書、信仰告白文及所屬教會ノ推薦書ヲ添ヘ理事會ニ提出スベシ
- 第八條 理事會ハ前條ノ志願書ヲ受理シタルトキハ試驗委員長ニ通告シ其試驗成績報告ニ依リ承認ヲ與フベシ
- 第九條 試驗委員ハ教師、傳道師志願者ニ對シ別表ニ掲グル科目ニ依リ試驗ヲ行フベシ

一、教師試驗科目

- 一 信仰上ノ經驗及教師志願ノ理由
  - 二 日本組合基督教會ノ歴史及政治
  - 三 聖書緒論及註釋
  - 四 組織神學
  - 五 教會史及教理史
  - 六 宗教哲學
  - 七 基督教倫理學
  - 八 基督教社會學
  - 九 宗教教育學
  - 十 傳道教會上ノ經驗及意見
  - 十一 論 文
  - 十二 說 教(草稿ヲ提出セシム)
- 二、傳道師試驗科目
- 一 信仰上ノ經驗及傳道師志願ノ理由
  - 二 日本組合基督教會ノ歴史及政治
  - 三 聖書緒論及註釋
  - 四 基督教教理一斑
  - 五 教會史



六 基督教倫理概要  
七 宗教教育概論

八 說教(草稿ヲ提出セシメ必要ト認ムルトキハ說教セシム)

(昭和四年十月總會ニ於テ制定)

### 日本組合基督教會

#### 傳道献身者獎勵ニ關スル規程

- 一 毎年十一月第一日曜日ヲ傳道献身者獎勵日トス
- 二 同日曜日禮拜式ニ於テ有爲ナル傳道献身者ノ起ラン爲メニ全國諸教會一齊ニ祈禱及說教ヲナスコト
- 三 教職部ハ献身志望者ニ對シ其ノ所屬教會牧師ト協力シテ適當ナル指導ヲナス
- 四 教職部又ハ都會ニ於テ適當ナル時機ニ傳道献身獎勵ノ爲メ信徒修養會ヲ開催スルコト
- 五 本決議ノ實施ニ要スル經費ハ理事會ノ決議ニヨリ支辨スルコト

(大正十三年九月總會ニ於テ制定  
昭和十年十月、同十一年十月ノ各總會ニ於テ修正)

### 日本組合基督教會

#### 傳道師養成獎學金規程

- 第一條 本會ハ傳道師養成ノ目的ヲ以テ候補者ヲ定メ神學校ヲ指定シテ在學セシメ獎學金ヲ支給ス
- 第二條 本獎學金ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格アルヲ要ス
  - 一 本教會員ニシテ將來本會ニ於テ傳道又ハ其他ノ基督教事業ニ從事セントスル者
  - 二 所屬教會及傳道所ノ役員會又基督教團體ノ代表者ヨリ推薦ヲ受ケタル者
  - 三 信仰堅實、學力良好ニシテ身體健全ナル者
- 第三條 本獎學金志望者ハ志願書ニ履歷書、前條第一項第二號ノ推薦狀及健康診斷書ヲ添ヘ理事會ニ提出スベシ
- 第四條 理事會ハ本獎學金志望者ノ資格ニ就テ審査シ當該神學校ト協議シテ其許否ヲ決シ且獎學金ノ支給額ヲ定ム
- 第五條 本獎學金支給ノ承認ヲ得タル者ハ保證人二名ヲ定メ身元保證書ヲ理事會ニ差出スベシ

第六條 本獎學金受領者ハ卒業後本會ニ於テ傳道又ハ其他ノ基督教事業ニ從事スル義務アルモノトス

第七條 卒業前退學スル者及前條ノ義務ヲ履行セザル者ハ其受領シタル獎學金ノ全額ヲ返却スベシ 但事情ニヨリ理事會ノ承認ヲ經タル者ハ此ノ限りニアラズ

第八條 第二條第一項第一號及第三號ノ資格ヲ失シタル者ニ對シテハ理事會ニ於テ當該神學校ト協議シ其獎學金ノ支給ヲ停止スベシ

(大正十一年十月總會ニ於テ制定  
昭和八年十月、同十一年十月ノ各總會ニ於テ修正)

### 同志社神學教育

#### 協力ニ關スル協定

- 同志社、日本組合基督教會、日本基督同胞教會及アメリカン・ポールドハ從來ノ親善ナル關係ニ鑑ミ同志社ニ於ケル神學教育ノ充實發展ニ關シ一層有効ナル實績ヲ舉ゲンコトヲ期シ左ノ協定ヲナス
- 一 協定團體ハ同志社神學教育ニ對シ寄附金又ハ教授ヲ提供スルモノトス
  - 二 協定團體ハ協力ノ目的ヲ遂行スル爲メ左ノ割合ヲ以テ委員ヲ選出ス
 

同志社	四名
日本組合基督教會	參名
日本基督同胞教會	貳名
アメリカン・ポールド	貳名
日本ミツシヨンド	貳名
  - 三 委員ハ委員會ヲ組織シ同志社寄附行爲及職制ニ悖ラザル範圍ニ於テ左ノ事項ニ關シ協議ヲナス。
    - (一) 豫算ニ關スル事項
    - (二) 學制ニ關スル事項
    - (三) 協定各團體推薦教授ノ進退ニ關スル事項



- (四) 調育ニ關スル事項
- (五) 推薦學生ニ關スル事項
- (六) 獎學金ニ關スル事項
- (七) 前各號ノ外必要ナル事項
- 四 新ニ參加ヲ希望スル團體アルトキハ委員會全員一致ノ決議ニヨリ同志社ノ承認ヲ經テ加入セシム
- 五 本協定ハ必要ナル場合ニハ協定團體一致ノ決議ヲ以テ之ヲ改訂スルコトヲ得
- 六 加盟團體中已ムヲ得ザル事情生ジタルモノハ本協定ヨリ脫退スルコトヲ得
- 七 本協定ハ昭和七年十一月一日ヨリ實施スルモノトス

〔大正十一年十月總會ニ於テ決議〕  
〔昭和七年十月總會ニ於テ更改〕

### 日本組合基督教會 教職名簿整理規程

- 一 教師ニシテ正當ノ理由ナクシテ五年以上本會ニ於テ牧會、傳道又ハ一般ノ基督敎事業ニ從事セザル者アルトキハ理事會ノ決議ヲ經テ教職名簿ヨリ除籍スルモノトス
- 二 教師ニシテ本會以外ノ教會ニ於テ牧會、傳道又ハ基督敎事業ニ從事シ二年以上ヲ經過スルモ退會ヲ届出デザルトキハ理事會ノ決議ヲ經テ教職名簿ヨリ除籍スルモノトス
- 三 傳道師ニシテ正當ノ理由ナクシテ本會ニ於テ其職ニ從事セザルコト三年以上又ハ他教會ニ就職シテ二年以上ニ及ブモ退會ヲ届出デザルトキハ理事會ノ決議ヲ經テ教職名簿ヨリ除籍スルモノトス
- 四 除籍シタル教師及傳道師ニシテ本會ノ教職ニ復歸セントスル者アルトキハ理事會ノ決議ヲ經テ之ヲ承認スルモノトス。

〔大正十一年十月總會ニ於テ制定〕

### 日本組合基督教會 中央基金規程

- 第一條 本會ハ左ノ目的ノ爲メ中央基金ヲ置ク
  - 一 本會教師、牧師及傳道師ノ獎學及傳道者ノ養成
  - 二 本會牧師及傳道師ノ報酬補給
  - 三 本會牧師及傳道師ノ養老
  - 四 本會牧師及傳道師ノ疾病療養費補助
  - 五 本會牧師及傳道師ノ遺族扶助
- 但細則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第二條 本基金ハ加盟教會（傳道所ヲ含ム）及有志者ノ寄附ニヨルモノトス
- 第三條 本基金ハ永久之ヲ保管シ其果實ノ外之ヲ使用スルコトヲ得ズ
- 第四條 本基金ハ財團法人日本組合基督教會維持財團之ヲ保管ス
- 第五條 本基金果實ノ收支豫算及決算ハ日本組合基督敎會理事會ノ決議ヲ以テ執行シ總會ノ承認

ヲ得ルヲ要ス

### 附 則

本規程實施ノ時期及細則ノ適用ハ日本組合基督敎會理事會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

〔大正八年十月總會ニ於テ制定〕  
〔同十四年九月、昭和四年十月ノ各總會ニ於テ修正〕



日本組合基督教會  
恩給資金規程

- 第一條 本資金ハ本會牧師及傳道師ニ對スル左ノ目的ノ爲メ之ヲ設ク
- 一 恩給金(養老年金及退職一時金)
  - 二 休職金
  - 三 遺族扶助料
- 第二條 本資金ハ左ノ納入金ニ依ル
- 一 加盟教會及傳道所ノ掛金
  - 二 牧師及傳道師ノ掛金
  - 三 有志及團體ノ寄附金
- 第三條 教會及傳道所ノ掛金ハ在任牧師及傳道師ノ掛金ノ同額トス
- 第四條 牧師及傳道師ノ掛金ハ其報酬金額ニ對シ左ノ如ク定ム
- 一 報酬金七拾圓未滿ノ者 月額金五拾錢
  - 二 報酬金百貳拾圓未滿ノ者 月額金壹圓
  - 三 報酬金百圓未滿ノ者 月額金壹圓五拾錢

日本組合基督教會  
中央基金及恩給資金細則

- 第一條 本細則ハ中央基金規程ニ依ル果實供給金及恩給資金規程ニ依ル資金ノ支出方法ヲ規定ス
- 第二條 本細則ニ於テ教師、牧師及傳道師トハ本會規約第三章第十一條、第十二條及第十三條ニ掲グル者ヲ謂フ
- 第三條 中央基金規程ニ於テ養老、恩給資金規程ニ於テ恩給ト稱スルモノヲ本細則ニ於テハ之ヲ養老年金又ハ退職一時金ト通稱ス
- 第四條 教師、牧師及傳道師ノ獎學金ハ理事會ニ於テ候補者ヲ銓衡シ修學ノ方途及金額ヲ定メ之ヲ支給ス
- 第五條 傳道者ノ養成費ハ理事會ニ於テ査定シ左ノ二件ニ對シ之ヲ支給ス
- 一 傳道志望者ノ修學費
  - 二 神學校ニ對スル寄附金
- 第六條 牧師及傳道師ノ報酬補給ハ理事會ノ決議

二四

- 四 報酬金貳百圓以上ノ者 月額金貳圓  
但牧師館ナキ教會ニ在任スル者ニ對シテハ借家料ノ半額ヲ控除シテ計算ス
- 第五條 教會傳道所及牧師傳道師ノ掛金ハ教會及傳道所ニ於テ取纏メ毎月之ヲ納ムルモノトス但便宜上年二回ニ納付スルコトヲ得
- 第六條 納入金ハ如何ナル理由アルモ之ヲ返還セズ
- 第七條 本會專務ノ役員及職員ニ對シテハ本規程ヲ適用シ婦人傳道師ニ對シテハ理事會ノ決議ニ依リ之ヲ準用ス
- 第八條 本資金ノ管理及其收支ハ本會財務部ニ於テ之ヲ處理ス
- 附 則
- 本規程ニ依ル資金ノ納入ハ昭和九年一月一日ヨリ實施ス

〔昭和八年十月總會ニ於テ制定〕  
〔昭和十一年十月總會ニ於テ修正〕

- ヲ經テ左ノ金額ヲ支出ス
- 一 妻子父母アル者ニシテ其報酬月額金七拾圓ニ滿タザル場合ニ於ケル不足額ニ對シ金貳拾圓以內
  - 二 獨身者ニシテ其報酬月額金五拾圓ニ滿タザル場合ニ於ケル不足額ニ對シ金拾五圓以內
  - 三 牧師館ニ在任スル者ニ對スル補給額ハ第一號及第二號ノ各半額トス
  - 四 補給金ハ教會及傳道所所在任者一人ナル場合ニ限り之ヲ支給ス
  - 五 補給金額ハ教會及傳道所支出ノ報酬額ヲ超過スルコトヲ得ズ
- 第七條 牧師及傳道師ノ養老年金ハ在職二十ヶ年以上ニシテ事故ニ因リ又ハ滿六十三歳ニ達シテ退職シタ者ニ對シ理事會ノ決議ヲ經テ左表ニヨリ之ヲ終身支給ス
- |         |       |       |       |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 在職三十年以上 | 卅五年以上 | 卅年以上  | 卅五年以上 | 卅年以上  |
| 卅五年未滿   | 卅五年未滿 | 卅五年未滿 | 卅五年未滿 | 卅五年未滿 |
| 卅一年未滿   | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 |
| 卅一年未滿   | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 |
| 卅一年未滿   | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 |
| 卅一年未滿   | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 |
| 卅一年未滿   | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 |
| 卅一年未滿   | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 |
| 卅一年未滿   | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 |
| 卅一年未滿   | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 | 卅一年未滿 |

二五



第八條 牧師及傳道師ニシテ在職十ヶ年以上二十ヶ年未満ノ者事故ニ因リ退職シタトキハ理事會ノ決議ヲ經テ退職一時金壹百圓以上五百圓以内ヲ支給ス 但恩給資金ニ對スル牧師及傳道師掛金ノ半額以上タルベシ

第九條 牧師及傳道師ノ疾病療養費補助ハ理事會ノ決議ヲ經テ左ノ金額ヲ支給ス

一 疾病滿六ヶ月以上ニ涉リタルトキハ事情ニ因リ向フ一ヶ年ヲ出デザル期間ヲ定メ現報酬金三分ノ一以内ヲ支給ス 但一ヶ年ノ期限ヲ經過シ尙療養ヲ要スル場合ハ理事會ノ決議ヲ經テ更ニ一ヶ年以内延期スルコトアルベシ

二 滿十ヶ年以上在職シタル者ニシテ疾病ノ爲メ退職シ當分復職ノ見込ナキ場合ハ三ヶ年ヲ出デザル期間ヲ定メ退職當時ノ報酬金二分ノ一以内ヲ支給ス 但三ヶ年ノ期限ヲ經過シ尙療養ヲ要スル場合ハ理事會ノ決議ヲ經テ更ニ一ヶ年以内延期スルコトアルベシ

第十條 牧師及傳道師ノ休職金ハ離職後二ヶ月ヲ

經過スルモ尙就職セザル者ニ對シ理事會ノ決議ヲ經テ離職當時ノ報酬金半額ヲ三ヶ月以内ニ限り之ヲ支給ス

第十一條 牧師及傳道師ノ遺族扶助料ハ滿十ヶ年以上在職シタル者及第七條ニヨリ養老金ヲ受クル者ノ永眠シタル場合ニ於テ其妻子(相續人ニシテ二十五年未満且未婚ノ者)父母ニ對シ理事會ノ決議ヲ經テ左表ニヨリ支給ス

在職年數	十ヶ年	二十ヶ年	三十ヶ年	四十ヶ年
一時金	以三百圓	以五百圓	以七百圓	以一千圓
	以上	以上	以上	以上
	以内	以内	以内	以内

第十二條 牧師及傳道師ニシテ在職十ヶ年未満ニシテ永眠シタルトキハ其妻子(相續人ニシテ二十五年未満且未婚ノ者)父母ニ對シ理事會ノ決議ヲ經テ牧師及傳道師ノ恩給資金ニ對スル掛金ノ半額ニ相當スル扶助料ヲ支給ス

第十三條 恩給資金ニ對スル教會傳道所及牧師傳道師掛金ノ義務ヲ履行セザル場合ハ其期間ヲ在職年數ニ加算セズ

附 則

一、本細則ハ昭和十年一月ヨリ實施ス  
 二、昭和九年一月以前ヨリ養老年金ヲ受クル者ニ對シテハ昭和九年度養老年金額ヲ繼續支給シ本細則ヲ適用セズ

大正八年十月總會ニ於テ制定  
 昭和九年十月、同十一年十月、昭  
 和十二年十月、同八年十月、同十  
 一年十月ノ各總會ニ於テ修正

第十四條 關係教會及傳道所ヨリ特ニ養老年金療養費ヲ受クル牧師及傳道師ニ對シテハ第七條及第九條又ハ遺族扶助料ヲ受クル妻子父母ニ對シテハ第十一條ノ事情ニ因リ理事會ノ決議ヲ經テ適用セザル事ヲ得

第十五條 本會專務ノ役員及職員ニ對シテ本細則ヲ適用ス

第十六條 婦人傳道師ニ對シテハ特ニ理事會ノ決議ニヨリ本細則ヲ準用ス

第十七條 本細則ノ實施ニ要スル經費ハ中央基金果實供給金及恩給資金中ヨリ之ヲ支辨ス

第十八條 本細則ニ依ル收支豫算及決算ハ理事會ノ決議ヲ以テ執行シ本會總會ノ承認ヲ得ルモノトス

第十九條 中央基金果實供給金及恩給資金ニ不足ヲ告グル場合ハ理事會ノ決議ニヨリ支給金ヲ減額シ又ハ一部停止スルコトヲ得

第二十條 本細則ノ修正ハ本會總會ニ於テ出席議員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルヲ要ス



**日本組合基督教會及アメリカン・ボールド間ニ於ケル  
傳道事業ニ關スル協定**

日本組合基督教會及アメリカン・ボールド、ジヤパン・ミツシヨン間ニ於ケル從來ノ親善ナル關係、殊ニ大正十一年一月一日ヨリ實行セル傳道事業合同協定ニ依ル良好ナル經驗ニ鑑ミ、日本組合基督教會及アメリカン・ボールドハ日本傳道ノ使命ニ對シ一層有効ナル實績ヲ擧ゲンガ爲メ本協定ヲ締結ス

- 一 傳道ノ爲メアメリカン・ボールドヨリ派遣セラル、宣教師ハ日本組合基督教會理事會ノ推薦ニ依リ日本組合基督教會教職ニ加入ス
- 二 日本組合基督教會教職ニ加入シタル宣教師ハ別ニ規定セラル、事項以外ハ日本組合基督教會規約ニ從ヒ同教職トシテノ資格及責任ヲ有ス
- 三 傳道事業ノ爲メ新宣教師ノ派遣、宣教師ノ休養並ニ歸任及宣教師ノ任地等ニ關スル一切ノ事

- ジテ所屬宣教師ノ傳道事業年報ヲ提出ス
- 七、本協定修正ノ必要ヲ認メタル場合ハ、日本組合基督教會及アメリカン・ボールドノ協議ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得
- 八、本協定ハ昭和十一年一月一日ヨリ、又ハ其後日本組合基督教會及アメリカン・ボールドニ於テ相互ニ承認ヲ與フルト同時ニ實施ス

大正十一年十月、同八年十月ノ各總會ニ於テ修正、昭和十一年十月ノ總會ニ於テ更改

- 項ハアメリカン・ボールドノ規程ニ從ヒ日本組合基督教會理事會ニ於テ之ヲ決定ス
- 四 アメリカン・ボールドハ其規程ニ從ヒ宣教師住宅提供ノ責ニ任ジ、且其報酬金、給與金、醫療費、赴任費並ニ歸休費、養老金及其他ノ個人的經費ヲ負擔ス
- 但宣教師ノ住宅ニ關シ多大ノ出費ヲ要スル場合ニハ別ニ作成スル協定ニ依ル
- 五 アメリカン・ボールドハ毎年日本現地ニ於ケル其指定代表者ヲ通ジテ、日本組合基督教會理事會ヨリ提出セラル、宣教師關係ノ傳道費豫算案並ニ他ノ事業ニ關シ要求サル、經費豫算案ヲ査定ス、之等ニ對スル提供金ハ凡テ之ヲ日本組合基督教會ニ提供ス
- 但組合教會所屬宣教師ノ傳道費並ニ組合教會ノ傳道事業提供金ハ既定方針ナル十年計畫ニ依ル
- 六 日本組合基督教會理事會ハアメリカン・ボールドニ對シ日本現地ニ於ケル其指定代表者ヲ通

**日本組合基督教會及アメリカン・ボールド間ニ於ケル  
傳道事業ニ關スル協定第四  
項但書ニ關スル決議**

日本組合基督教會及アメリカン・ボールド間ニ於ケル傳道事業ニ關スル協定第四項ニ「但宣教師ノ住宅ニ關シ多大ノ出費ヲ要スル場合ニハ別ニ作成スル協定ニ依ル」トアルモ將來ニ於テ特ニ之ガ協定ヲ規定シ置クヲ要スル程ノコトナカルベシ

若シ斯カル場合ノ起リタル時ハ其都度理事會ハ傳道部ヲシテ日本現地委員ヲ經テアメリカン・ボールド本局ト協議セシムルコト

(昭和十一年十二月理事會決議)



### 日本ミツシヨン宣教師ニ 關スル決議

日本ミツシヨンハ本年六月有馬ニ開キタル年會ニ於テ左ノ決議ヲ爲セリ、本總會ハ之ヲ諒トシ、其交渉ヲ受ケタル場合ハ理事會ニ於テ之ヲ處理セシムルコト

#### 決議

アメリカン・ボールド及日本組合基督教會ノ間ニ存スル友誼的協同關係ニ鑑ミ日本ミツシヨンハ特ニ他ニ定ムル場合ヲ除キ宣教師ノ招聘、歸休宣教師ノ招致、及宣教師ノ任地ニ關スル決定ハ日本組合基督教會又ハ其代表者ニ諮リ之ヲ決定スルコト

(昭和二年十月總會ニ於テ決議)

### 千九百二十七年協約

- 第一條 アメリカン・ボールド日本現地委員會 (Japan Commission) ニヨリテ代表サル、アメリカン・ボールド及日本組合基督教會ハ從來日本ミツシヨンニ屬スル左ノ事業機關ノ管理經營ニ協力センコトヲ約ス
- 一 神戸女子神學校
  - 二 頌榮幼稚園及同保育專攻學校
  - 三 淀川善隣館
  - 四 岡山博愛會
  - 五 鳥取南窓館
  - 六 幼稚園(他ノ機關ニ關係ナキ)
  - 七 夏期キャンブ事業
  - 八 松山夜學校
- 第二條 協同管理ノ爲メ中央委員會ヲ置キ其委員ヲ八名トシ選舉及任期ニ關シ左ノ如ク定ム
- 一 委員八名ノ内四名ハアメリカン・ボールド日本現地委員會ニ於テ選舉シ他ノ四名ハ日本

- 組合基督教會理事會ニ於テ選舉ス
- 二 委員ノ任期ハ二ケ年トシ一月一日就任ス
  - 三 委員ニシテ死亡、辭任、又ハ日本ヲ離ル、場合ニ於テハ中央委員會ハ投票ニヨリ其殘任期間ヲ充ス爲メ補缺選舉ヲ行フコトヲ得
- 第三條 中央委員會ノ任務左ノ如シ
- 一 各機關ノ目的、組織(管理委員會組織ニ關スル規程ヲ含ム) 教育課程及事業計劃ヲ承認スルコト
  - 二 各機關ノ主任者ノ任免ヲ行フコト
  - 三 各機關ノ事業ニ對スル各年度ノ豫算案ヲ審査シ之ヲ日本現地委員會ヲ經テアメリカン・ボールドニ提出スルコト
  - 但日本現地委員會ハ豫算案ニ關スル參考材料ヲ取纏メ之ニ意見ヲ附シ又ハ附セズシテアメリカン・ボールドヘ送達ス
  - 四 各機關ノ發展ヲ圖ルコト
  - 五 各機關ノ連絡ヲ圖ルコト
  - 六 アメリカン・ボールド(日本現地委員會ヲ



經テ) 及日本組合基督教會へ中央委員會及各機關事業ニ關スル年報ヲ提出スルコト

七 各機關ニ關係アル宣教師ノ任地ノ決定、歸休ノ時期並ニ歸任及宣教師増派ノ要求ニ關スルコト

(歸休規程ハアメリカン・ポールド規約ニ據ルモノトス)

第四條 各事業機關(幼稚園ヲ除ク)ニハ各自ノ管理委員會及會計ヲ置ク

一 各機關ノ管理委員會ハ中央委員中ヨリ互選ヲ以テ擧ゲタル一名及各機關組織ノ規程ニ依リ定メラレタル若干名ヲ以テ成立ス

二 各機關ノ會計ハ中央委員會ノ選任ニ依リ當該機關ノ經費收支ヲ掌ル

第五條 各機關ノ管理委員會ノ主要ナル任務左ノ如シ

一 各機關ノ教育課程又ハ事業計劃ヲ立テ中央委員會へ提出スルコト

二 教職員ノ任免ヲ行フコト

基督教會ノ協賛ヲ經ルヲ要ス

昭和二年十月總會ニ於テ制定  
同四年十月、同八年十月、  
同十年十月ノ各總會ニ於テ修正

### 千九百二十七年協約

#### 中央委員會施行細則

第一條 中央委員會ハ役員トシテ委員長及書記二名ヲ互選ス

第二條 役員ノ任務左ノ如シ  
一 委員長ハ中央委員會及常務委員會ヲ召集シ其議長トナル

二 書記ハ決議録ヲ作り書類ヲ保管シ中央委員會年報ヲ作成ス

第三條 中央委員會年會ハ毎年日本ミツシヨン年會約一ヶ月以前ニ之ヲ開ク

臨時委員會ハ常務委員會又ハ委員三名ノ請求ニヨリ開クコトヲ得

年會ノ期日及議案ハ一ヶ月以前、臨時委員會ノ期日及議案ハ七日以前ニ通知スルヲ要ス

三 各年度ノ豫算案ヲ作成シ之ヲ中央委員會ニ提出スルコト

四 承認サレタル經費ノ豫算額ニヨリ實行豫算ヲ作成スルコト

五 本協約ニ牴觸セザル範圍ニ於テ當該委員會ノ職務執行規程ヲ作成スルコト

六 各機關ノ事業年報及管理委員會ノ事業報告ヲ中央委員會ニ提出スルコト

第六條 管理委員會ヲ有セザル幼稚園又ハ事業ハ凡テ中央委員會ノ直接管理ニ屬シ其會計ノ選任ハ中央委員會ノ承認ヲ得ルヲ要ス

第七條 中央委員會ハ本協約實施ニ對シ必要ナル施行細則ヲ設クルコトヲ得

第八條 第一條ニ掲ゲラレタル以外ノ事業機關ハ中央委員會ノ決議ニヨリ日本現地委員會及日本組合基督教會理事會ノ協賛ヲ經テ本協約ニ加入スルコトヲ得

第九條 本協約ノ修正ハ中央委員會三分ノ二以上ノ決議ニヨリアメリカン・ポールド及日本組合

第四條 中央委員會ハ委員六名ノ出席アルニアラザレバ開會スルコトヲ得ズ

第五條 中央委員會ハ時宜ニ依リ通信ヲ以テ表決ヲナスコトヲ得

第六條 中央委員會ノ議事ハ別ニ規定セル場合ノ外ハ過半数ヲ以テ決ス 但通信ニ依ル決議ハ委員六名ノ同意ヲ要ス

第七條 役員及中央委員會年會ニ於テ互選セル一名ノ委員ヲ以テ常務委員會ヲ組織ス

第八條 常務委員會ハ必要ニ應ジ隨時之ヲ開キ左ノ事項ヲ執行ス

一 中央委員會ノ執行順序及議案ノ編成

二 中央委員會ニ於ケル決議ノ執行

三 財政及資産其他重要ナル事項ノ調査及提案

四 其他緊急ノ事項

第九條 常務委員會ハ重要事項ニ就キ各中央委員ノ意見ヲ徴シ且決議ハ凡テ速カニ各中央委員ニ報告スベシ

第十條 各機關主任者ノ任免ハ中央委員六名ノ同意アルヲ要ス

昭和三年一月中央委員會ニ於テ制定  
同四年五月、同八年六月ノ各中央委員會ニ於テ修正



## 財團法人日本組合基督教會 維持財團寄附行爲

第一條 本法人ヲ財團法人日本組合基督教會維持財團ト稱ス

第二條 本法人ハ日本組合基督教會及同教會ニ屬スル諸教會ノ傳道、教育其他社會教化事業ノ爲要ナル土地、建物及設備品ヲ所有シ管理シ又ハ必要ナル資産ヲ供給スルヲ以テ目的トス

第三條 本法人ハ其事務所ヲ大阪市西區土佐堀一丁目一番地大同生命ビルディング八百十七號室ニ置ク

第四條 本法人ノ資産左ノ如シ

一 設立者ノ寄附ニ係ル別紙財産目録記載ノ財産及將來基本財産トシテ寄附若クハ編入セラル、財産

二 日本組合基督教會所屬教會ノ爲用途ヲ指定シテ寄附セラルル財産

三 本法人ノ目的ヲ達スル爲寄附セラルル前掲

以外ノ財産

四 本法人ノ有スル元本ヨリ生スル果實

第五條 第四條第一號ノ財産ヲ基本財産トス

基本財産ハ本法人ノ目的ヲ遂行スル爲已ムヲ得サル必要アル場合ニ限り理事全員ノ同意ヲ以テ處分スルコトヲ得

第六條 第四條第二號ノ財産ヲ特別財産トス

特別財産ヲ處分スル場合ハ前條ヲ準用スル外當該教會ノ總會ノ決議ニ依ル承諾アルコトヲ要ス

第七條 基本財産及特別財産タル金錢ハ之ヲ確實ナル銀行ニ預入シ又ハ確實ナル有價證券トナシ之ヲ管理ス

第八條 特別財産中ニ對スル租稅、公課其他ノ負擔ハ當該教會管理者ヲシテ負擔セシム

第九條 第二條ノ目的並ニ本財團事務ノ經費ハ寄附金及本法人ノ財産ヨリ生スル果實ヲ以テ支辨ス

但特ニ用途ヲ指定セル寄附財産ヨリ生スル果實ハ其目的ニ從フテ之ヲ使用ス

第十條 本法人ニ理事九名ヲ置ク

第十一條 理事ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ選任ス

一 七名 本法人理事ノ指名シタル倍數ノ候補者中ヨリ日本組合基督教會理事會ニ於テ選任ス

二 二名 日本組合基督教會理事ノ互選ニ依リ選定ス

第十二條 理事ノ任期ハ四箇年トス

但日本組合基督教會理事ノ互選ニ依ル者ノ任期ハ其資格ノ任期ニ依ル

第十三條 死亡、辭任其他ノ事由ニヨリ理事ニ缺員ヲ生シタルトキハ第十一條ノ規定ニ準シ一箇月以内ニ其補缺理事ヲ選任ス

但補缺理事ノ任期ハ前任理事ノ殘任期ニ限ル

第十四條 理事ノ互選ヲ以テ專務理事一名ヲ定ム

專務理事ハ本法人ヲ代表シ理事會ヲ召集シ其議長トナリ且本法人ノ事務ヲ處理ス

理事ハ專務理事ヲ補佐シ事務ヲ分掌ス

第十五條 理事會ハ定時及臨時ノ二種トシ定時會

ハ毎年三回一月、七月及九月之ヲ開キ臨時會ハ專務理事ノ意見又ハ理事三名以上ノ請求ニヨリ之ヲ開ク

理事會ハ本寄附行爲ニ規定シタル事項ニ關シ必要ナル決議ヲナス

理事會ニ於テ決議スヘキ事項ハ豫メ理事ニ通知スルモノトス

理事會ニ於テハ理事全員ノ同意アルニアラサレハ通知以外ノ條項ニ付決議スルコトヲ得ス

第十六條 本法人ニ監事二名ヲ置キ任期ヲ四箇年トス

監事ハ日本組合基督教會理事會ニ於テ選任ス  
監事ニ缺員ヲ生シ補缺ノ必要アルトキハ臨時之ヲ選任ス

但其任期ハ前任監事ノ殘任期ニ限ル

第十七條 監事ハ何時ニテモ財産及事業ノ狀況ヲ檢査シ且理事會ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得

第十八條 所屬教會ノ擔當布教者ノ資格ハ中學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノニ



シテ日本組合基督教會ノ牧師タル資格ヲ有スル  
モノナルコトヲ要ス

第十九條 本法人ヲ解散セントスル場合ハ理事全  
員同意ノ決議ニヨリ日本組合基督教會理事會ノ  
同意ヲ得タル上日本組合基督教會總會ノ承認ヲ  
經ルヲ要ス

第二十條 本法人解散ノ場合ニ於テハ本法人ノ財  
産ハ日本組合基督教會又ハ之ト同主義ノ教會ニ  
歸屬セシムルモノトス

但特別財産ニ付テハ第六條ノ手續ヲ要ス

第二十一條 本寄附行爲第二條、第五條、第六條  
第七條、第九條及本條以外ノ條項ハ理事全員同  
意ノ決議ニヨリ主務官廳ノ認可ヲ經テ之ヲ變更  
スルコトヲ得

大正十三年十一月文部省認可  
昭和六年十二月修正  
昭和七年七月ヨリ同修正實施

財團法人日本組合基督教

維持財團寄附行爲細則

第一條 本法人ノ資産ハ左ノ三種トス

一 基本財産

(イ) 傳道部基本金

(ロ) 中央基金

二 特別財産

(イ) 所屬教會ノ爲用途ヲ指定シテ寄附セララル土

地建物、設備品、其他ノ財産

三 前掲以外ノ財産

(イ) 特定ノ土地、建物、設備品及寄附金

(ロ) 諸種ノ寄附金

第二條 寄附行爲第五條ノ財産處分ハ日本組合基督教會  
理事會ノ同意ヲ得ルヲ要ス

第三條 各財産管理ノ方法ハ理事會ノ決議ヲ以テ之ヲ定  
ム

但寄附行爲第七條ニ規定セラレタル基本財産及特別

財産タル金錢ハ之ヲ確實ナル銀行ノ外當分ノ間信託

會社ニモ預入スルコトヲ得

第四條 特別財産ノ寄附ハ當該教會總會ノ決議ニ依ル同  
意アルコトヲ要ス

但總會ノ規定ナキ場合ハ管理者ノ同意アルコトヲ要  
ス

第五條 特別財産ノ寄附及處分ニ關スル經費ハ當該教會  
ノ負擔トス

第六條 理事會ハ左ノ事項ヲ處理シ日本組合基督教會總  
會ニ提出ス

一 日本組合基督教會ニ供給スル資産ニ關スル豫算案  
ノ作成

二 基本財産ノ收支決算報告及特別財産ノ現況報告ノ  
作成

三 本法人ニ關スル經費ノ豫算案及決算報告ノ作成

第七條 本法人ノ會計年度ハ日本組合基督教會ノ會計年  
度ニ依ル

第八條 専務理事ノ任期ハ貳ケ年トス

第九條 専務理事事故アルトキハ他ノ理事代理ス

第十條 理事會ハ理事五名以上ノ出席アルニアラサレハ  
決議ヲナスコトヲ得ス

第十一條 日本組合基督教會理事會ハ理事會ニ出席シ且意

見ヲ提出スルコトヲ得

第十二條 本法人ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一 基本財産臺帳

一 特別財産臺帳

一 出納簿

一 原簿

一 補助簿

第十三條 理事會ハ必要ニ應シ事務員ヲ置クコトヲ得

第十四條 寄附行爲ノ修正ハ其第二十一條ニヨリ本細則  
ノ修正ハ理事會ノ決議ニヨリ何レモ日本組合基督教會  
理事會ノ同意ヲ得ルヲ要ス

大正十三年十二月制定  
昭和六年十二月修正  
昭和七年七月ヨリ同修正實施  
昭和十一年一月修正



日本組合基督教會  
會堂建築資金規程

第一條 會堂建築資金ハ財團法人日本組合基督教會維持財團之ヲ管理シ特別會計トシテ之ヲ處理ス

第二條 財團法人日本組合基督教會維持財團理事會ハ資金貸付ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ日本組合基督教會理事會ニ諮リ其諾否ヲ決定シ貸付ノ條件ヲ協定ス

第三條 貸付資金ハ經常費年額金五百圓以上ヲ支辨スル加盟教會ニ對シ其會堂附屬館ノ建築又ハ改築ノ爲金貳千圓ノ範圍内ニ於テ之ヲ貸付スルモノトス 但教會ガ自ラ支辨スル金額ニ超過スルヲ得ズ

第四條 貸付資金ハ一ケ年百分ノ三以上ノ利息ヲ附シ其翌年ヨリ年賦償却ヲ受クルモノトシ年賦ノ最長期間ヲ五ケ年トス

第五條 貸付資金ノ借入ハ當該教會總會ノ決議ヲ經テ特ニ教會ノ選定シタル代表者ガ自己ノ資格ニヨリ連帶責任ヲ以テ之ヲ爲スモノトス

法人タル教會ニ於テハ理事名義ヲ以テ借入ヲ爲スモノトス

トス

第六條 貸付資金ヲ受領シテ六ヶ月以内ニ使用セザルトキハ財團法人日本組合基督教會維持財團ハ借款ヲ取消シ教會ハ直チニ之ヲ返還スベキモノトス

第七條 貸付資金借入ノ教會ハ其年賦償却ヲ終ル迄建築又ハ改築シタル建物ニ對シ相當金額ノ火災保險ヲ附スルコトヲ要ス

第八條 貸付資金ノ年賦償却ノ義務ヲ怠リ或ハ償却ヲ終ラザルニ其建物ニ對シ質權又ハ抵當權ヲ設定シ或ハ所有權ヲ讓渡シ其他不信ノ行爲アルトキハ財團法人日本組合基督教會維持財團ハ日本組合基督教會理事會ニ諮リ年賦償却ノ條件ヲ取消シ全額一時ニ返還ヲ請求スルコトヲ得

第九條 貸付資金ノ借入ヲナサントスルトキハ左ノ書式ニ從ヒ借用證書ヲ差入ルベシ

第十條 會堂敷地購入ノ場合ニモ本規程ヲ適用スルコトヲ得

第十一條 本規程ノ修正ハ財團法人日本組合基督教會維持財團理事會ノ決議ニヨリ日本組合基督教會理事會ノ承認ヲ得ルヲ要ス

第十二條 日本組合基督教會傳道部ニ於テ教會設立ノ爲其會堂、附屬館ノ建築又ハ改築ヲナサントスル場合ハ金貳千圓ノ範圍内ニ於テ第四條ノ條項ヲ附シ貸付スルコトヲ得 但理事會ノ決議ヲ以テ貸付金額ヲ増加スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ日本組合基督教會理事會ノ決議ヲ要ス

第六條、第七條、第九條、第十條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本規程ハ本資金ヲ財團法人日本組合基督教會維持財團基本財産ニ編入スルニ至ル迄効力ヲ有ス

(注意 第九條の書式は次ページにあり)

大正十四年十二月	制定
昭和六年七月	修正
同七年七月	修正
同九年一月	修正
同十年七月	修正
同十二年七月	修正
同十三年一月	修正



書式

收入印紙

證

四〇

一金

圓也 但利息一ケ年

何府縣何郡市何町村何番地

西洋(日本)形會堂(附屬館)平家建(二階建)

此建坪

坪 合 勺

右ハ貴維持財團ノ會堂建築資金規程ヲ了知シ今般何基督教會會堂(附屬館)建築(改築)費補填ノ爲前書金員借用致候處確實也然ル上ハ向ケ年間賦ヲ以テ 圓宛毎年 月

日迄ニ毎年ノ利子相添へ返濟可致候萬一本規程ノ條項ニ觸ル、場合ハ八年賦償却ノ利益ヲ失ヒ全額一時ニ御請求相成候共異議無之候依テ後日ノ爲連帶責任證書差入候也

年 月 日

住所

何 何 何  
某 某 某  
印 印 印

財團法人日本組合基督教會維持財團  
專務理事

殿

日本組合基督教會  
客員籍ニ關スル決議

- 一 日本組合基督教會名簿ニ客員籍ヲ設ク
  - 一 客員籍ニアル者ハ本籍ニアル會員ト同様ノ待遇ヲ受ク
  - 一 客員籍ニアル者ハ本籍ニアル會員ト同様ノ義務ヲ盡ス
  - 一 客員籍ニアル者ハ本籍ニアル會員ト同様ノ權利ヲ有ス
- 但役員ニ選バル、コトヲ得ズ

(明治四十年十月總會ニ於テ決議)

日本組合基督教會  
他行及住所不明會員整理ニ  
關スル申合

- 我組合基督教會ニ於テ他行及住所不明ノ教會員ノ數ハ全教會員ノ四割一分弱(大正十二年度末ノ統計ニヨル)ニ及ブ多數ニシテ其教勢ノ上ニ及ボス影響ノ大ナルモノアルヲ以テ之レガ整理ニ關シ左ノ申合ヲ爲スコト
- 一 各教會ノ會員名簿ニ關シテハ主任教師其責ニ任ジ會員ノ移動ニ關シ一層親切細密ナル注意ヲ拂ヒ之レガ整理ニ努ムルコト
  - 二 會員ニシテ他所ニ移轉シ若クハ六箇月以上他所ヘ轉居スル者アルトキハ主任教師(又ハ役員)ヨリ其地ノ組合教會ニ紹介シ成ルベク轉會スル様勸ムルコト
  - 三 若シ轉會シ難キ事情アルトキ又ハ其地ニ組合教會ナキ場合ハ何レノ教派ヲ問ハズ適當ト認ムル教會ニ客員トシテ出席スル様取計フコト
  - 四 六箇月以上住所不明ノ會員ハ之ヲ本部ニ通知シ「傳道月報」又ハ「基督教世界」紙上ニヨリ其他適宜ノ方



法ニヨリ整理ノ途ヲ講ズルコト

五、三箇年以上ノ住所不明會員ハ之ヲ別籍ニ編入シ成ル  
ベク除名セズシテ其居所ノ探索ニ努ムルコト

(大正十三年九月總會ニ於テ決議)

### 日本組合基督教會

#### 調査委員ニ關スル決議

日本組合基督教會調査報告審査委員ノ報告ニヨリ本會事  
業ノ能率ヲ増進スル爲メ常設ノ調査委員ヲ置キ各方面ノ  
調査ニ當ラシムルコト

右委員ハ五名トシ理事會ニ於テ選舉シ其任期ヲ二ヶ年ト  
ス

調査ニ要スル經費ハ有志寄附金ヲ以テ之ヲ支辨スルコト

(大正十一年十月總會決議)

### 日本基督教聯盟ニ關スル決議

第三十八回日本組合基督教會總會ハ大正十一年五月東京  
ニ開會ノ全國基督教協議會ニ於テ決議サレタル日本基督  
教聯盟ノ創立ニ對シテ賛意ヲ表シ其成立ヲ希望スルコト  
右創立ノ準備成リ同創立委員ヨリ加盟ノ交渉ヲ受ケ理事  
會ニ於テ適當ト認メタル時ハ其決議ヲ經テ加盟スルコト

(大正十二年十月總會決議)

日本基督教聯盟成立シタルヲ以テ本會ハ之ニ加盟スルコ  
ト

(大正十二年十月理事會決議)

### 基督教世界社規則

第一條 本社ハ日本組合基督教會機關誌『基督教世界』及  
基督教宣傳ニ關スル出版物ヲ發行スルヲ以テ目的トス

第二條 本社ハ日本組合基督教會理事會ニ於テ本社社友  
中ヨリ選定シタル社員ヲ以テ組織ス

社員ヲ十五名トシ其任期ヲ三ヶ年トス

第三條 社員ハ社員會ヲ組織シ本社事業ノ經營ニ任ズ

社員會ハ必要アル毎ニ主幹之ヲ招集ス

二名以上ノ社員ハ會議ノ目的及事由ヲ記載シタル書面  
ヲ主幹ニ提出シテ社員會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

社員會ハ社員半数以上出席スルニ非ザレバ議決スルコ  
トヲ得ズ

社員會ニ出席セザル社員ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲スコト  
ヲ得

書面ヲ以テ表決ヲ爲ス社員ハ出席シタルモノト看做ス

第四條 本社ニ左ノ役員ヲ置キ社員會ニ於テ社員中ヨリ  
之ヲ選舉ス

一 主幹 一名

一 主事 一名

第五條 役員ノ任務左ノ如シ

第五條 役員ノ任務左ノ如シ

一 主幹ハ本社ヲ代表シ社員會ノ決議ヲ執行シ緊急ノ  
必要アルトキハ社員會ニ代リ事業ノ進行ヲ計リ『基  
基督教世界』ノ論說記事ニ對シ其責ニ任ズ

二 主事ハ主幹ヲ補佐シ主幹故障アルトキハ其事務ヲ  
攝行ス

主事ハ會計事務ヲ管理シ出納上ノ責ニ任ジ兼テ諸般  
出版物發行ノ事務ヲ司ル

主事故障アルトキハ主幹臨時主事ヲ囑託スルコトヲ  
得

第六條 本社ニ左ノ職員ヲ置キ編輯主任ノ外主幹之ヲ任  
免ス

編輯主任ハ主幹ノ推薦ニ依リ社員會之ヲ選任ス

一 編輯主任

一 記者

一 書記

第七條 職員ノ任務左ノ如シ

一 編輯主任ハ『基督教世界』ノ編輯ヲ司ル

二 記者ハ編輯事務ニ従事ス

三 書記ハ諸般ノ事務ニ従事ス

第八條 『基督教世界』ノ紙面ヲ變革シ又ハ出版物ヲ發行  
セントスルトキハ社員會ノ決議ヲ要ス



- 第九條 本社事業ノ成績及會計決算ハ翌年一月末迄ニ日本組合基督教會理事會ニ報告スルモノトス
- 第九條ノ二 本社ノ事業ニ對シ年額金八圓以上ノ金額ヲ寄附スルモノヲ社友トス
- 本社事業及決算ノ大要ハ翌年一月末迄ニ社友ニ報告スルモノトス
- 第十條 本規則ハ日本組合基督教會總會ニ於テ出席議員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ變更スルコトヲ得ズ

〔明治四十一年十月總會ニ於テ制定  
大正十一年十月、同十四年九月ノ  
各總會ニ於テ修正〕

### 日本組合基督教會教師會規約

- 第一條 名稱  
本會ヲ日本組合基督教會教師會ト名ヅク
- 第二條 會員  
本會ノ會員ハ組合教會ニ屬スル教師及傳道師トス
- 第三條 目的  
會員互ニ親誼ヲ厚ウシ喜憂ヲ共ニシ基督教教師タルノ品性ヲ修養スルヲ以テ目的トス
- 第四條 集會  
本會ノ年會ハ毎年一回組合教會總會ノ前後ニ開ク但時宜ニヨリ講習會ヲ開クコトアルベシ
- 第五條 役員  
本會ニ左ノ役員ヲ置ク
  - 一 會長 一名
  - 一 評議員 五名
  - 一 會計 二名
  - 一 書記 一名
- 第六條 役員ノ職務
  - 一 會長ハ會務ヲ總理ス
  - 二 評議員ハ會長ノ諮詢ニ應ジ左ノ事項ヲ決議ス

- (一) 會員ノ入會及退會
- (二) 會員ノ慶弔及慰勞ニ關スル件
- (三) 集會ニ關スル件
- (四) 會員ノ處分
- 三 會計ハ會長ト共ニ本會ノ資金ヲ保管シ且出納ヲ司ル
- 四 書記ハ記録及庶務ニ從事ス
- 第七條 役員選舉  
會長及評議員ハ年會ニ於テ會員中ヨリ選ビ會計及書記ハ評議員會ニ於テ之ヲ定ム
- 第八條 資金  
本會ノ資金ハ會員ノ會費、組合教會ノ寄附金及贊助員ノ贊助金ヲ以テ之ニ充ツ
- 第九條 會費  
會員ハ會費トシテ毎年二月金六圓ヲ納ムルモノトス但二月六月十月ノ三回ニ分納スルコトヲ得
- 第十條 慶弔及慰勞
  - 一 會員中結婚スル者アルトキハ祝金トシテ金貳拾五圓ヲ贈ルコト
  - 二 會員中子女ノ出産アリタルトキハ祝金トシテ金拾圓ヲ贈ルコト



三 會員中滿六十歳ニ達シタル者ニハ慰勞トシテ金五拾圓ヲ贈ルコト

但入會後五年ニ充タザル者ハ其半額トス  
四 會員中永眠者アルトキハ其遺族ニ弔慰料トシテ金壹百圓ヲ贈ルコト

但入會後五年ニ充タザル者ハ其半額トス  
五 會員中家族ニ永眠者(父母妻子)アルトキハ弔慰料トシテ金貳拾圓ヲ贈ルコト

但滿五年以下ノ子女ニ對シテハ其半額トス  
六 會員中病氣又ハ其他ノ事故アル者ニハ評議員會ノ決議ヲ以テ相當ノ贈金ヲナスコトアルベシ

七 會費ヲ一年以上怠納セル者ニハ贈金セズ  
第十一條 贊助金  
本會ノ目的ヲ賛成シ一時金參拾圓以上ヲ寄附スル者ヲ贊助員トス

但毎年金拾圓ゾ、分納スルコトヲ得  
第十二條 入退會  
入會及退會セント欲スル者ハ其旨ヲ會長ニ申込ミ承諾ヲ得ベシ

但退會者ニ對シテハ既納金中ヨリ本會ヨリ贈與シタル金額ヲ引去リ其殘金半額ヲ返附スルモノトス

### 日本組合基督敎會 聯合婦人會規約

第一條 名稱

本會ハ日本組合基督敎會聯合婦人會ト稱ス

第二條 組織

本會ハ日本組合基督敎會加盟諸敎會ノ婦人會ヲ以テ組織ス

第三條 目的

本會ハ日本組合基督敎會各婦人會ノ發展及團結ヲ計リ神國樹立ニ奉仕スルヲ以テ目的トス

第四條 事業

本會ノ事業左ノ如シ

1 婦人會ノ應援

2 敎會ノ應援

3 婦人傳道師ノ養成

第五條 會計

前條各項ノ經費ニ對スル歳入ハ左ノ科目ニ依ル

1 加盟婦人會ノ會費

2 贊助會員ノ寄附金

第十三條 處分

一 會員ニシテ敎師タル品性ヲ失ヒ本會ノ面目ヲ汚シタル者ハ評議員會ノ決議ヲ以テ除名ス

二 會員ニシテ會費ヲ怠納シ照會ノ上之ニ應ゼザル者ハ評議員會ノ決議ヲ以テ除名ス  
但處分ヲ受ケタルモノニ對シテハ一切既納金ヲ返却セズ

第十四條 修正

本規約ハ八年會ニ於テ出席員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ修正スルコトヲ得ズ

明治二十八年十月制定  
同四十二年十月大正  
九年十月、同十三年九  
月、同十四年九月修正

3 有志寄附金  
4 基本金ノ果實  
5 其他ノ收入

第六條 役員

本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 常務理事 一名

財務理事 一名 理事 六名

書記 若干名

理事ハ總會ニ於テ會員中ヨリ七名ヲ選舉シ二名ヲ新理事會ニ於テ推薦スルモノトシ其任期ヲ一ケ年トス 但再選ヲ妨ゲズ

會長、常務理事、財務理事ハ理事ノ互選ニ依テ之ヲ定ム

會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ統轄ス  
常務理事ハ會長ヲ補佐シ事務ヲ執行ス

財務理事ハ財産ヲ管理シ財務ヲ處理ス

理事ハ理事會ヲ組織シ事業ヲ經營ス

理事ニ缺員ヲ生ジタル場合ハ理事會ニ於テ之ヲ補充ス 但其任期ハ前任理事ノ殘餘期間トス

第七條 會議

毎年一回總會ヲ開キ(日本組合基督敎會總會ト同時ニ



開ク) 本會ノ事業ニ關スル報告、決算、議案及歳入出豫算案ノ議決、役員ノ選舉ヲナス  
決議事項ハ出席會員過半數ノ贊同ニ依ルモノトス  
總會ノ代議員ハ左ノ如シ

婦人會ノ代表者

本會役員

婦人會委員

贊助會員

右以外ノ各婦人會員

日本組合基督教會理事及各教會牧師ハ番外員タルコトヲ得

第八條 支部

地方ノ事情ニ依リ本會ニ支部ヲ設置ス

各支部ニ支部長ヲ置クコトヲ得

第九條 委員

本會加盟ノ各婦人會ニ委員ヲ置ク

其選定ハ各教會婦人會ニ委託ス

第十條 贊助員

本會ノ事業ニ對シ一年金貳圓以上寄附スルモノヲ贊助會員トス

第十一條 規約修正  
本規約ハ總會ニ於テ出席代議員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ變更スルコトヲ得ズ  
(昭和十二年十月制定)

日本組合基督教會  
男女青年會聯盟規約

第一條 名稱

本聯盟ヲ日本組合基督教會男女青年會聯盟ト稱ス

第二條 目的

本聯盟ハ各地方青年會聯盟ト聯絡ヲ計リ協力一致以テキリストト教會ノ爲メニ奉仕セン事ヲ期ス

第三條 組織

本聯盟ハ地方聯盟ヲ以ツテ組織ス 但聯盟ヲ組織セザル地方青年會ハ單獨加入スル事ヲ得

第四條 本部

本聯盟ノ本部ヲ日本組合基督教會本部内ニ置ク

第五條 總會

本聯盟ハ一年一回總會ヲ日本組合基督教會總會ノ前後ニ開催ス

第六條 役員

本聯盟ハ各地方聯盟ヨリ選出サレタル中央委員若干名ヲ置ク

中央委員ハ委員會ヲ組織シ聯盟ニ關スル諸般ノ事務ヲ

執行ス

中央委員ハ互選ニヨリ委員長一名及常務委員若干名ヲ選舉シ日本組合基督教會教育部幹事ヲ常務委員ニ推舉ス

中央委員會ニテハ幹事若干名、書記若干名ヲ置キ諸般ノ事務ヲ補佐セシム

中央委員會ハ顧問若干名ヲ置ク事ヲ得

中央委員會ハ顧問若干名ヲ置ク事ヲ得

(昭和三年十月八制定  
同六年十月、及同  
十二年十月修正)



昭和十二年十二月二十八日印刷  
昭和十三年一月五日發行

【非賣品】

編輯者兼

尼崎市難波通五丁目百二十八番地  
田中左右吉

印刷者

大阪市西區阿波座中通二丁目四番地  
井下精一郎

印刷所

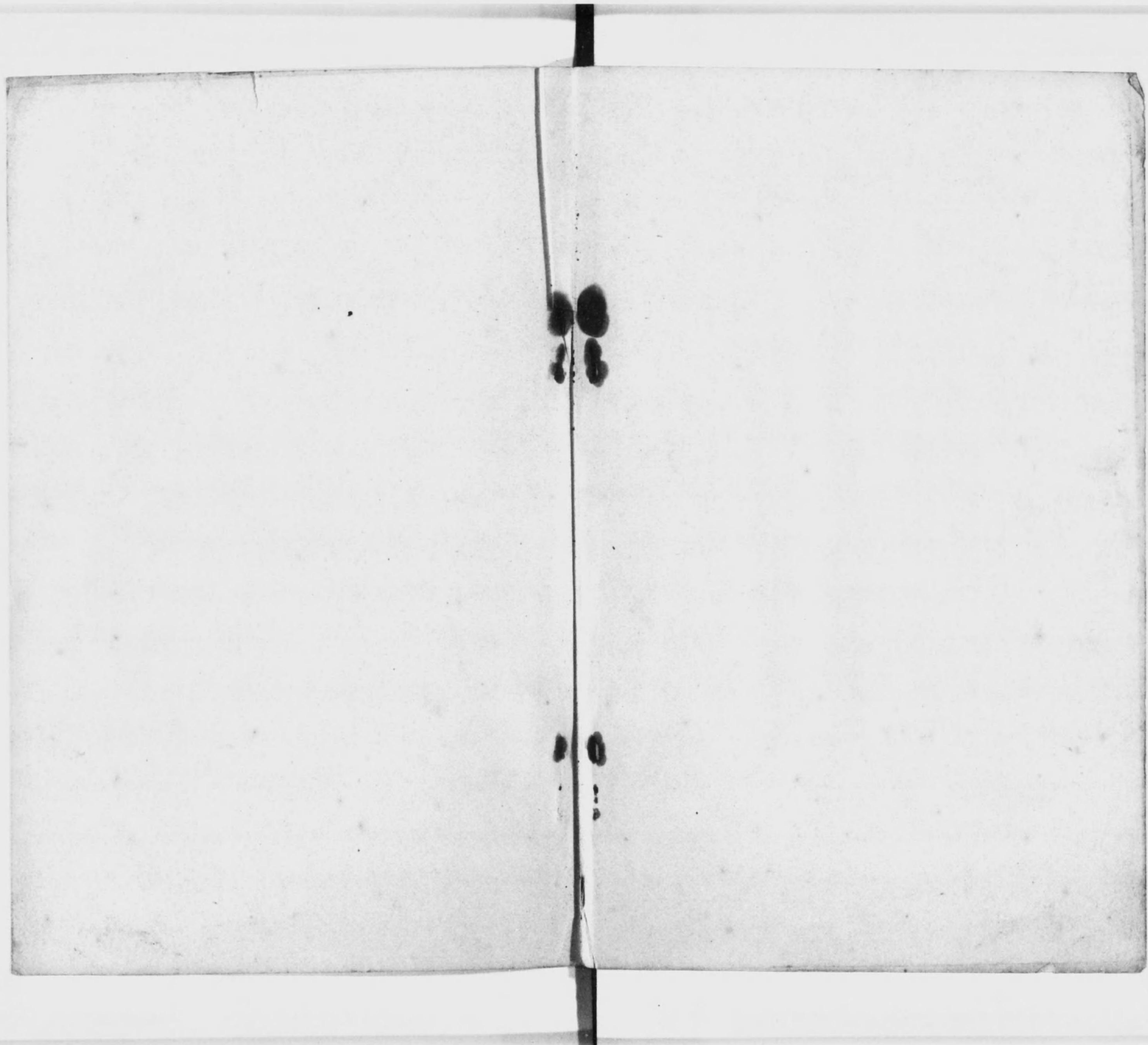
大阪市西區阿波座中通二丁目四番地  
井下書籍印刷所

發行所

日本組合基督教會本部

大阪市西區土佐堀一丁目一番地  
大同生命ビルヂング八一七號室  
電話土佐堀三七八五番  
振替大阪六〇五番







終

8  
77